



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

私の母方の親せきは広島県民で、多くの親せきが被爆しています。親せきの人が今までも多くの原爆の話を知りました。ですが、今日聞いた話はとても印象に残るものになりました。語り手の立場によ、て話し方、感じ方が全然ちがうものだなと感じました。「戦争はいかないせんこくだ、今までは」と聞いてきた話しにつきま、ていたその言葉を今日聞かなかったのはおどろきでした。すこくうれしか、たです。私も戦争はいかないとは思うけど、それとはまたちがう考えがあります。今まで感じていたおしつけがなくな、た気がしてすこくうれしか、たです。すまじいせん光、暴風、焼かぬようなあつさ、今まではまたちがう印象を持てたのかおもしろか、たです。原爆の感じ方は見る人によ、てちがうとよく分かりました。私は被爆者の子孫として原爆の怖さや恐しさを伝えるべく、事実をつたえよう、これからはいい学んでいきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

表やグラフなど、数値化されているものが
沢山出てきたので分かりやすかった。また、
戦争のおそろしさ、怖さ、その時の状態
などが分かった。1つ疑問としては、戦争が
起こってしまったいじょう、それには、きっかけ
があるのだと思う。なので、なぜ戦争が
始まってしまったのか、どの国が原因
なのか、ということ。

原爆のはかい力、原爆の大きさや
名前も分かった。前半45分が
終わってから、7000℃の少年の
意味が分かった。7000℃のリトルボーイ(少年)
つまり、原爆を表わしていたことを
知るときには、なぜこんなものを
つくってしまったのだろうかと思うように
なった。としても、面白い話だった。

このようなとても大切な話を
聞いて良かったと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日この特別授業を受講していまの世界はとてつもなくこわいと感じるようになりました。広島に落とされた原子はくたんは、たった一発でしかも $\frac{1}{60}$ のい力で、14万人以上の命をうばってしまいました。もし、全部のい力を出していたら840万人の命をうばってしまったかもしないと思いました。そう思うと、その1000倍のい力の核はくたんが1万6000発あるこの世界は、とてつもなくおそろしく、危険な世界なんだと危機感をもちようになりました。もし仮に第三次世界大戦が起こればまたまちがいにこの世界は、ほろんでしまふと思ひます。だからぼくたちは、この核のおそろしさを次の世代、また次の世代へとつなげていかなければならないと思ひます。そのためには、知知識が必要です。ぼくはこの先の言周々学習で平和とはなにが、どうしたら平和になるのがその答えを見つけだしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは、受講して平和とは、自分の思^{おも}いがま
に生^いきている、ということだと思^{おも}います。なぜなら、
原爆で家族やマ^マ休^{やす}ム、友^{とも}だちなどを失
な^なて生^いていく環境があ^まり良^よく、何^{なに}のため
に生^いきているのかも分^わからなくな^なってしま^まっている人
がた^たくさんいると思^{おも}います。そ^そうした中^{ちゆう}で、ぼく
は、自由^{じゆう}に生^いきていること、家族とい^いっしょに
こ^ことに改^かめて感^{かん}謝^{しゃ}していま^{いま}す。でも、戦^{せん}争^{そう}が起^おき
たこ^こと、原爆^{げんばく}が投^なげられたこ^ことを知ら^しらない人^{ひと}や
あ^あまりくわ^くし^しく知ら^しない人^{ひと}がた^たくさんいると思^{おも}います。
未^み来^{らい}にぼく^{ぼく}たち^{たち}は伝^つえて平^{へい}和^わの素^す晴^はしさやとれ
ほ^ほと大^{だい}切^{せつ}な^なのかを伝^つえてい^いく使^し命^{めい}があ^あると
思^{おも}いま^{いま}す。平^{へい}和^わにす^するた^ため^めにも、平^{へい}和^わを保^たま^ま
た^ため^めにも、未^み来^{らい}の世^よの中^{ちゆう}に伝^つえてい^いくた^ため^めにも
原爆^{げんばく}は、忘^われては^はな^なら^らない大^{だい}事^じな^なこ^ことだ^だと
思^{おも}いま^{いま}した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今まで原爆のことを全く知りませんでした。が、原爆先生の特別授業を受けて、原爆というのは本当に恐ろしいものなんだなと思いました。何度も先生が話していましたが、原爆による被害を受けた人は、ひふが体からはがれたり、大やけどを負ったりという大変な状況になっていて、もし私が被害者だったらもう二度と「原爆」という言葉をききたくないです。それでも、後の人達（原爆をあまり知らない人達）に伝えるために忘れてはいけないというのも辛いと思います。

原爆は、広島市の40%もの人の命を一瞬でうばった、もう絶対に起こしてはいけない悲劇です。

池田先生が最後に「指のひふがむけてななめ前へうでを出し、体は大やけどを負った女性の人形を見た父が、きれいすぎると言った」とおっしゃっていました。私たち原爆による被害を受けていない人からすれば、その女性の人形を見ただけでぞっとすると思います。でも、その人形を見た池田義三さんが「きれいすぎる」と言うほど、原爆は恐ろしかつたんだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の原爆先生の授業を受けて核兵器の恐ろしさを改めて実感しました。特に、原子爆弾の温度を聞いたとき、もしこれが自分の身に当たたらひとたまりもないと思いました。池田義三さんの実体験を聞いたとき、被爆した隣人の死体がたぐさんあって片付いているところはとても悲惨でした。このようなことは二度とあるべきではないと思いました。さらに、一番印象に残ったのは、広島市民の70%が被爆し、40%が亡くなったということです。そのうち2万人は一瞬で亡くなったと聞いたとき心が痛みました。そして、もし横浜など、私たちが住んでいるところのちかくに原爆が落ちていたら、私たちは生まれていなかったかもと思い、ぞわぞわしたです。原爆は二度とあるべきではないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

8 / 30

『人間じゃない』その言葉を聞いた時、突然私の脳裏にその時の様子が思いうかびました。もちろん、原爆を体験した人になれば、全然違うと思いますが、それでもとてもこわかったです。また、池田先生の話し方に集中でき、資料などにのせられている情報からも、原爆のおそろしさ、むごたらしさが手にとるように分かりました。

私の心に特に残ったのは、アメリカが定めた「原子爆弾投下都市の条件」です。

これを見て、アメリカが日本の被害を大きくしようとしていると思うと、戦争というのは人々のにくしみ合いなんだなと思います。こわいです。

今回、原爆先生の特別授業を受講して、

私が改めて感じたのは、戦争をしてはいけないということ。戦争をしていいことは

一つもありません。平和を愛する日本国民の一人として、平和な世の中をこれからも築いていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

8/30

私は、渡家族旅行で、広島に行ったことがあります。その時、私は、こわいという風にしか思、
ていなくて、よく考えようとしませんでした。が、
今日原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のすさまじさ、戦争のおそろしさが新めて、よく分かり
ました。池田義三さんの体験を聞いて、もう二度
と戦争をおこしては、ならないと強く思いました。
そして私は、池田義三さんと、貞徳さんが、広島
に訪れたときの話を聞いて、おどろきました。
それは、人のひふが、焼きただれてしま、たときを
再現した人形を見て、「こんなにきれいじゃない」と言、
たことです。私は、その人形を見たとき、きれいとは、
とても思えませんでした。なので、義三さんの話を聞い
て、その人形より、も、とも、と、悲さんだ、たんだと
思、い、おどろきました。私は、これから、大人になて
もし、子どもが、できたり、なにか、話、きか、い、が、あ、た
ら、この、原爆のおそろしさ、二度と戦争をおこしては
いけないということ、を、たくさんの人たちに、教えて、
平和な世界に、していきたいと、強く感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

8/30

原爆先生の授業を受けてみて、広島に落とされた牛物は、とても生々しい物だとぼくは感じました。その理由としては、もともとは原爆を少しかるい気持ちで考えていました。ですが授業を受けてみてとても深く感じる事ができました。他にもぼくは、ひいおじいさんがいて、ひいおじいさんも地田義三さんと同じように兵隊の仲間だった。ひいおじいさんはぼくに「原爆はとてもおそろしい牛物だ。こんなものが二度と使われてはいけな」と昔言われたことを授業を受けながらおもいだしました。ぼくは、この広島、そして長崎でおこったことは、二度とおきてほしくない、心から思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島にリトルボーイが落ちたとき、原爆先生がすごく大きな声で表現をしたので、そのときの様子がとても伝わった気がしました。聞いているだけでもつらい現場で働いていた池田義三さんがすごいと思いました。そして最後のビデオで池田さんが泣いていたのを見て、現場にいたのがとてもつらかったのだろうと感じました。いっしょんで他^たな^なが熱に囲まれ焼け焦げ^やけ^けてしまうなんて、とても想像ができませんでした。原爆は、どうしてもにげられないというところと、いっしょんで人をたくさん殺せ^せて^てしまうところがとてもおそろしいと思いました。最初のビデオを見て、こんなふうになってしまうのかと思いました。また、ゴルフボールほどの大きさですごいいり^いょ^ょく^くを持っていることがとてもこわいと思いました。そしてその1000倍のいり^いょ^ょく^くを持つものがたくさんあるのがとても不安になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

8/30

ぼくは、今回の授業で「原爆の非惨さ」を知りました。去年の夏、ぼくは広島に行き、原爆資料館などを見学しました。そこで、写真や遺品を見ておどろきました。今回の授業では、現状についても、とみどか、たということをしていました。このことに関しては今も想像することかできません。また、核兵器は世の中にあってはいけないものだと感じました。核兵器を使うことにより、たくさんの方が傷つき、死に至る人が多いそうです。しかし、今、地球では広島で使われたものの約1000倍の強さの原爆が156000発あり、飛ばしている国もあります。これを国際社会が協力し合い、何十年後にはこの世に核がなくなることを目指しています。今回習ったことを活かして多くの人に広めたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

8/30

今回はとてもきちょうなお話を90分も話していただきとても勉強になりました。本当にありがとうございました。私はよく「戦争」について書かれている本を読みます。そこではいつもざんこくさやおそろしさを感じ「かわいそう」では言いきれない気持ちで胸がいっぱいになります。しかし、今回の授業では文字からでは学べないことをたくさん学びました。例えば「原爆」が投下されたときの音、いつ投下されるのか必死で「願」いながら待つときどきした気持ち、被爆者のおさまなどでした。被爆者と聞いたら「かわいそう」と思っていた私に今回変わった感情は「おそろしい」でした。何が「おそろしいか」と言うと、「原爆」もそうですが、被爆者の「姿」でした。この気持ちは実際に経験した方からの話からしか生まれない気持ちでした。原爆を真上から受けた方の亡くなり方はこわいような、美しいようなそんなとありえるのかとおどろくようななんとも言えないようだと聞いていて思いました。私は亡くなった全ての方々のために、長崎市が行っている「平和ポスターコンクール」にポスターを出そうと思います。そして小さなことがきっかけで「どん」どん平和になって戦争がなくなつ